



2023年5月30日

各位

会社名 株式会社ひかりホールディングス
(コード番号 1445 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 倉地 猛
問合せ先 取締役経営管理本部長 立川 征吾
TEL 0572-56-1212
URL <https://www.h-holdings.jp>

KIRYU JAPAN ホールディングス株式会社の株式の取得（子会社化） 及び資金の借入に関するお知らせ

当社は、2023年5月30日開催の臨時取締役会において、下記のとおり、KIRYU JAPAN ホールディングス株式会社の発行済全株式を取得し、100%子会社化すること、および、当該株式取得にあたり資金の借入を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社及び、当社グループは「タイル・石材加工事業」「総合建材事業（新築工事・改修工事・輸入仕入販売・建築写真）」「電気通信工事業」「土木工事業」「保険代理店事業」の5セグメントに分けて事業を展開しております。

国内における建設業界の動向として、アベノミクスが発表された2013年以降、復興需要やオリンピック特需、更には2014年の消費税増税を見据えた駆け込み需要などの影響により、新築を中心とした建設ラッシュとなりました。一般的にマンション等の大規模修繕工事の修繕周期は全体の約7割が完成から12～15年後と言われており、当時、建設された建築物の修繕需要は今後、関東圏を中心に見込まれると予想されます。このような市場環境において、KIRYU JAPAN ホールディングス株式会社（以下「対象会社」という）は、埼玉県に本社を置き、関東圏を商圏としたマンション等のタイルを中心とした改修工事及び、大規模修繕工事を主な事業としておこなっております。

対象会社の代表である野村晃一氏（以下「野村氏」という。）と当社の代表の倉地猛は同じタイル業界に身を置いている事から、これまでも仕事上だけでなく、協会活動などを通じて、一緒に業界を盛り上げてきた関係にありましたが、今回、野村氏の体調問題などがあり、経営の継続が難しいとの事で、当社に対象会社の事業の承継の打診がありました。当社グループとしては前述のとおり、今後、改修工事及び、大規模修繕工事の需要拡大が見込まれる事から、同社の全株式を譲り受け、子会社化する事といたしました。

2. 異動する子会社（KIRYU JAPAN ホールディングス株式会社）の概要

(1) 名称	KIRYU JAPAN ホールディングス株式会社
(2) 所在地	埼玉県さいたま市南区大字太田窪 3506 番地 11
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 野村晃一
(4) 事業内容	輝龍株式会社（総合修繕工事、タイル(改修)工事一式、超高压洗浄、特殊注入工事等）の経営管理
(5) 資本金	30,000 千円

(6) 設 立 年 月 日	2019年3月1日		
(7) 大株主及び持株比率	野村晃一 85.00% 野村希代 5.88% 新美賢一 3.43% 青柳和敏 2.28% 大湊信幸 2.28% 佐藤政輝 1.13%		
(8) 上場会社と当該会社との関係	資 本 関 係	対象会社の100%子会社であります輝龍株式会社は、当社株式800株を保有しております。同株式については当社の100%子会社となった後、当社の自己株式として譲受けを予定しております。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該 当 状 況	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び連結財務状態			
決 算 期	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期
純 資 産 (千円)	72,315	158,134	202,608
総 資 産 (千円)	805,860	936,022	1,200,750
1株当たり純資産 (円)	22,115	48,359	61,960
売 上 高 (千円)	1,191,926	1,375,014	1,356,136
営 業 利 益 (千円)	124,555	104,255	36,872
経 常 利 益 (千円)	123,112	98,716	33,771
当 期 純 利 益 (千円)	83,525	65,819	24,474
1株当たり当期純利益 (円)	25,543	20,128	7,484
1株当たり配当金 (円)	—	—	—

※1 KIRYU JAPAN ホールディングス株式会社は100%子会社に輝龍株式会社を保有しており、上記については、KIRYU JAPAN ホールディングス株式会社と、輝龍株式会社を簡易連結した数値を記載しております。なお、輝龍株式会社の単体の経営成績及び財政状態は以下となります。

【輝龍株式会社の最近3年間の経営成績及び財務状態】

決 算 期	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期
純 資 産 (千円)	93,702	170,145	205,338
総 資 産 (千円)	824,582	945,057	1,200,219
1株当たり純資産 (円)	310,274	563,397	679,928
売 上 高 (千円)	1,191,926	1,375,014	1,356,136
営 業 利 益 (千円)	125,020	104,699	37,410
経 常 利 益 (千円)	123,563	99,159	34,309
当 期 純 利 益 (千円)	84,156	66,443	25,192
1株当たり当期純利益 (円)	278,664	220,010	83,418
1株当たり配当金 (円)	—	—	—

※2 対象会社及び対象会社の子会社である輝龍株式会社は未上場のため、会計監査等は受けておりません。

※3 KIRYU JAPAN ホールディングス株式会社のホームページ等に表記されております株式会社インテリジェンスドローン、株式会社プライム、株式会社豊晃の3社につきましては、対象会社と資本関係が無いため、今回の譲渡対象外となっております。

※4 当社連結子会社後、KIRYU JAPAN ホールディングス株式会社は、輝龍株式会社を存続会社とする吸収合併を2023年9月1日目途に実行する予定です。

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	野村晃一、野村希代、新美賢一、青柳和敏、大湊信幸、佐藤政輝
(2) 住 所	当該相手との守秘義務により住所の開示は控えさせていただきます。
(3) 上場会社と当該個人との関係	特筆すべき関係はございません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株（議決権所有割合 0.0%）
(2) 取得株式数	3,270株（議決権の数 3,270個）
(3) 取得価額	取得価額については、当事者間の秘密保持義務により非公開とさせていただきますが、当社において第三者機関に依頼した算定（主に対象会社の EBITDA 及び時価純資産額を使用した類似会社比準法などにより算定）を基に双方協議の上、価額を決定しております。なお、取得価額は当社直前事業年度末連結純資産の 15%以上の額であります。
(4) 異動後の所有株式数	3,270株（議決権所有割合 100.0%）

※1 本件株式取得にかかる営業権（のれん、見込額）は 780,000 千円を予定しております。

5. 日程

(1) 取締役会決議	2023年5月30日
(2) 契約締結日	2023年5月31日
(3) 株式譲渡実行日	2023年5月31日

6. 資金の借入

(1) 資金の借入の理由

本件対象会社の株式の取得を目的に、金融機関から必要な資金の借入を行うものです。

(2) 借入の概要

① 借入先	岐阜信用金庫
② 借入金額	480百万円
③ 借入金利	基準金利＋スプレッド 2.2%
④ 借入実行日	2023年5月31日
⑤ 担保の有無	無担保・無保証

① 借入先	日本政策金融公庫
② 借入金額	200百万円
③ 借入金利	基準金利＋スプレッド 1.7%
④ 借入実行日	2023年5月30日
⑤ 担保の有無	無担保・無保証

① 借入先	商工組合中央金庫
② 借入金額	100百万円
③ 借入金利	基準金利＋スプレッド 2.25%
④ 借入実行日	2023年5月30日
⑤ 担保の有無	無担保・無保証

7. 今後の見通し

本株式取得が予定通り実行された場合、KIRYU JAPAN ホールディングス株式会社は 2023 年 8 月期第 4 四半期より当社の連結子会社となる予定です。本件による当社グループの 2023 年 8 月期の連結業

績への影響は現在精査中であり、2023年4月28日開示の「2023年8月期中間決算短信〔日本基準〕（連結）」の2023年8月期の連結業績予想には本件による影響は含まれておりません。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。なお、本株式取得に伴う当社の役員体制についての変更はございません。

以上